



地域密着

広報連絡委員 富田 英俊

先日、サポーター仲間から「最近、サッカー観に行ってる」と声をかけられた。スタジアムでのサッカー観戦は4年前に卒業し、今はテレビ観戦。20余年、レプリカユニフォームを着て、電車とバスを乗り継いで、時にはマイカーでスタジアムへ。スタジアム内でサポーターの醸し出す熱気は迫力満点、その非日常感には圧倒される。試合が始まると、展開は目まぐるしく、一瞬も目を離せない緊張感がある。数え切れない試合を観戦してきた。今でも脳裏に焼付いているのは、超満員の埼玉スタジアムで、サポートするチームがリーグ優勝したとき。

スタジアム観戦のきっかけは、Jリーグが掲げた「地域密着」という理念、チーム名から企業名を外し、ホームタウンの都市名を入れるというもの。青春時代を過ご

した「浦和」の街にJリーグのクラブがやってきた。Jリーグがぐっと身近になり、サポーターとなった。それが日常の生活に定着した。スタジアムデビューは今の浦和駒場スタジアム、2002年以降は埼玉スタジアム2002。時にはアウエーの試合で、東京、横浜、千葉、新潟、鹿島へ。

今年5月15日、Jリーグは30年目を迎えた。地域密着の理念は全国に浸透し、3つのカテゴリーでチーム数も開幕当初から6倍の41都道府県で60に増えた。日本のスポーツ界では馴染みのなかった理念だが、その後Bリーグやラグビーにも波及した。一部のプロ野球球団にも。栃木県には、Jリーグでは栃木SC、Bリーグには宇都宮ブレックスがある。スポーツを地元のスタジアムで観戦し、好きなスポーツに親しむ機会が増えれば地域も盛り上がる。一度スタジアムで、スポーツの熱気を味わってみて下さい。

はたちを祝う会実行委員も大募集！

はたちを祝う会では20歳になられる方々で実行委員会を設け、式の運営を行います。

中学校時代の仲間とはたちを祝う会に実行委員として参加協力してみませんか。多くの方々の参加をお待ちしています。参加希望の方は、ご連絡ください。

◆対象

平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれの方

◆内容

はたちを祝う会は令和6年1月7日(日)を予定しています。はたちを祝う会までに3回程度の実行委員会を開催する予定です。式の運営方法等を話し合っただき、前日の準備から当日の式典等の運営まで行います。

◆問合せ先

町生涯学習課 ☎(57) 4188

投稿俳句
野木俳句会

【講師吟】

夏景色クリックすれば激戦地
おしゃれして白で統一半夏生
遠雷や診察を待つ堅き椅子
夏大根どんどん太る私と同じ
紫陽花は今日も色濃く招くなり
自家製の蕺菜チンキよく効いて
空豆の弾け顔する妻の嘘
闇バイト待ち受けたるは蜘蛛の糸
梅落とす切ない思い少し晴れ

石倉夏生
大塚真棒
小川鶴枝
小山西早苗
小瀬里子
黒崎晶
幸田慶三郎
小井田洋子
石川和子